



受総第 130 号
平成 27 年 5 月 25 日

琴浦町議会
議長 前田 智章 様

琴浦町長 山 下 一 郎



議会報告会・意見交換会における意見等についてについて（回答）

平成 27 年 3 月 31 日付発議第 25 号、第 26 号及び第 27 号で通知のあったこのことについて、別紙のとおり回答します。

議会報告会・意見交換会における参加者の意見等

【以西地区】

項目	意見等の詳細	対応方針等	担当課
1	<p>保育園の統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合か単独か、どちらがいいか保護者が判断しながら、智頭の森の幼稚園のような取り組みも検討して欲しい。 ・議論するには1年は短い。できるだけ保護者の意見を取り入れ進めて欲しい。 ・新たなところに施設を作ったほうが統合しやすいのではないか。 ・これから子どもが増えることも考えられないので、もろ手を挙げて賛成ではないが、仕方がない。 ・保育園の統合を決める際には、自分の子供が通っていたらどうかなど、相手の立場になって考えて欲しい。 	<p>「子どもの最善の利益を実現する」ため、保護者、地域住民との意見交換を大切に、十分な理解を得た上で、統廃合を進めていく。</p> <p>統合後使用予定の成美保育園については、施設耐用年数も勘案し、必要な改修もしながらできる限り使用していく。長期的（10年程度）には、新施設の検討も必要である。</p>	町民生活課
2	<p>地域の活性化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以西地区は高齢化が進み、国民年金のみで生活しているひとり暮らしの高齢者も多い。そのためには、学校を活用して若い人のオフィスにしたり、家庭科室を改修して高齢者が自分の得意な漬物、味噌、豆腐などの加工品を作ったり、1万でも2万でも収入になるようなことをしたいと考えている。町の支援をお願いしたい。 ・校舎は地域のよりどころとなるような場所として地元で利用したい。少なくとも1階は地元が利用し、2階は公募をかけられても良いと考える。 ・船上山少年自然の家は、累計100万人が利用している。自然の家とタイアップして、セカンドスクールにしてはどうか。 	<p>以西地区では、「あすの以西を創る会」を結成し、地域活性化に向けた企画立案、事業運営を行っており、将来的な自主運営につなげるため、平成27年度から新たに、運営経費助成のための補助制度を制定し、支援を行う。</p> <p>校舎の活用については、27年度に策定する公共施設等総合管理計画において、各施設の複合化等も視野に入れ検討していくが、1階については地元で利用していただく方向で検討したい。</p>	企画情報課
3	<p>学校の統廃合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の統合の話も出ているが、学校の統合にしても旧町単位までと考えている。それ以上広がると、関係者のモチベーションがもたない。 	<p>小学校適性規模・配置審議会においても、旧町単位を越えた統合論議はいたしていません。</p>	教育総務課
4	<p>町営バスの存続について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営バスは大切な移動手段であるので、廃止しないようお願いしたい。 	<p>今年度、公共交通に関して町民アンケートを実施し、運行の効率化やニーズに沿った公共交通体系となるよう検討いたします。</p>	商工観光課

項目	意見等の詳細	対応方針等	担当課
5 明日の以西を創る会への支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・県の補助金が今年度で切れる。引き続き活動ができるよう、町での補助をお願いしたい。 ・月に1回定例会を開催しているが、町からの参加はない。県職員は毎回参加している。地域と協働するためには、情報の共有等が必要ではないか。 	<p>中山間地において活動する団体を支援するため、平成27年度から新たに町独自による補助制度を制定し、自主的な活動を支援していく。 (団体運営経費の補助、上限20万円) また、定例会には都合のつく限り参加し、地域との情報共有をしていきたいと考えている。</p>	企画情報課